

310) パンスト

しかしよくよく考えてみますと、私めにもそんな情けない話がありまして、或る雪の降る寒い日に、モモシキなるものを持ち合わせてなかったのも、ちよいと女房殿のパンストなるものを内緒で借用して、寒さしのぎにしたところまでは良かったのですが、ふとトイレに行きましたところ、ナニが出ないのでございます。仕方なくズボンを下げてナニする羽目になってしまったのでございますが、なにぶん冷えることとて、これがいつになく頻繁なのでございます。さすがにこれには小生も参ってしまいまして、ついにパンストの方にカッターナイフで穴を空けて、小用を足すことを決心をしたのであります。女房殿に後日とっちめられましたことは言うまでもございません。